

2011年2月1日

ロシア関連メモ 082

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野 雅人

ロシア反体制運動の動向

1. はじめに

昨年12月4日に投票が行われた下院議会選挙の結果、与党統一ロシアは得票率49.95%、議席数238と、前回の得票率64.3%、315議席から大きく後退した。この選挙結果について、統一ロシアの得票を水増しする不正操作が行われたことが各地の選挙監視人から報告され、これに抗議し自由で公正な選挙、さらに体制の変革を求める大衆行動が行われている。以下、その動向と今後の政治動向に与える影響等について報告する。

2. 運動の展開

(1)2011.12.10 ボロトナヤ広場

議会選挙の翌週末の12月10日、モスクワ中心部のボロトナヤ広場で不正選挙に抗議する集会が行われた。参加者は25,000人～50,000人と言われ、そのような大規模な抗議行動はソ連邦崩壊後初めてのことであった。会場周辺には軍の装甲車が配備されるなど、91年8月の国家非常事態委員会によるクーデター未遂事件以来の事態となった。その集会では以下の5項目が要求事項として決議された（図表1）

図表 1:12.10 決議事項

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 全ての政治犯及び捏造経済犯¹の即時釈放② 議会選挙結果を無効とし、選挙法を改正して民主的なルールのもとで選挙をやり直すこと③ 中央選挙管理委員長ウラジミール・チュロフ氏の罷免と不正に関与した全ての者を訴追すること④ 2012年2月までに「政党に関する法律」を改正すること（署名要件緩和・すべての野党登録認可）⑤ 民主的改正と自由で公正な選挙の実施：任期12～18ヶ月の暫定大統領を選出し、暫定大統領が憲法改正等、選挙制度改革を遂行し、その後任期5年²の大統領を選出すること |
|--|

（資料：報道等により筆者作成）

¹ ロシアでは役人が会社を乗っ取るために、経営者に脱税や横領等の罪を着せて逮捕・投獄する事例が数多いと言われている。その代表的存在がプーチン大統領（当時）と対立して脱税及び横領の罪で投獄されている元ユコス社長ミハイル・ホドルコフスコフ氏である。この「捏造経済犯」とはそのような人々を指す。

² 現在のメドベージェフ大統領まで任期4年だが、2012年5月に就任する次期大統領から任期6年となる。

(2)政府の対応

メドベージェフ大統領は自らのツイッターでデモの要求事項には賛同しないとの意見を表明したが、翌日には選挙不正に関する調査を命じた。さらにメドベージェフ大統領は12月22日の上下院議会向け教書演説において、「市民の政治参加拡大」のための「政治システムに関する包括的改進黨案」を提案した。この改進黨案には①ロシア83地方における知事公選制復活、②民間テレビ局の設立認可とテレビ局の政府支配廃止、③政党登録要件の緩和³・政治的競争の拡大等が含まれており、①については2012年1月16日に改正法が議会に提出された⁴。これらは抗議運動に対し一定の譲歩を示したものと言える。

(3)2011.12.24 サハロフ広場

2011年12月24日には、モスクワ中心部のサハロフ広場で再び大規模な行動が行われた。同日にはサンクトペテルブルク、ハバロフスク、ノボシビルスク、ウラジオストク、ユジノ-サハリンスク、ブラゴフシェニスク、オレンブルグ、チェリアビン等の各地でも同じ主旨の行動が行われ、12月10日を上回る規模となった。モスクワのデモ参加者数は当局発表約3万人、主催者発表10万人超で、参加者はプーチン首相の辞任を求めるシュプレヒコールを上げる等、24日の行動は反プーチン・反体制のメッセージが前面に打ち出されたものとなった。

この日の集会では12月10日の5項目の要求事項（図表1）に加え、⑥大統領選挙でプーチン氏に投票しないこと、⑦新たな大統領選挙監視団をモスクワに設置することが採択された。

集会には多数の一般市民が参加したほか、既存リベラル派政党や民族主義政党等の幅広い勢力が参加したが、特に重要な意味を持つと注目されたことはアレクセイ・クドリン前財務相が行動に参加したことである。

クドリン氏はプーチン首相とサンクトペテルブルク時代からの盟友で、2000年のプーチン大統領就任から財務相を勤めてきた人物であり、財務相として「安定化基金」設立や2008年の経済危機対策遂行等の実績があることから次期首相候補とも目されていた。しかし、クドリン氏は昨年9月24日に統一ロシア党大会でプーチン氏の2012年大統領選立候補とメドベージェフ氏の首相就任の方針が発表された際に、メドベージェフ氏の経済政策に同意できないとして財務相再任を拒否し、財務大臣を解任された。クドリン氏はその後ロシアの中産階級を基盤とする新しい右派政党の結成に動いており、反体制勢力の指導者となる可能性がある人物であると見られている。

クドリン氏は集会におけるスピーチで、政府との対話の必要性を強調し、対話のプラットフォームを構築しないと革命的な事態となり、平和的体制変革の機会が失われる恐れがあると穏健な路線を主張した。その後も反体制勢力と政府の交渉の媒体の役割を果たそうとして行動している。

なお、集会には3月の大統領選に立候補予定の実業家ミハイル・プロホロフ氏も姿を表した。

(4)2012. 1. 29 自動車デモ

2012年1月29日にモスクワ市中心部で自動車によるデモ行進が行われた。約3,500台（主催

³ 現在政党登録には10万人以上の署名が必要とされているが、これを500人の党員名簿で可能とする。

⁴ 改正法施行は2012年5月から。

者発表)の自動車 Moskva の環状道路 (Садовом кольце : Golden Ring) を公正な選挙実施を訴えて行進したもので、車体に「反プーチン」のシンボルカラーである白のリボンや風船、雪だるま等をつけた自動車が周回した。このデモは「白い輪」('Белое кольцо' : White Ring) 運動と名付けられ、同様のデモが 2 月 19 日にも計画されている。

3. 運動の特色

(1) 都市中産階級の参加

不正選挙への抗議を契機とした運動も次第に持続性のある反体制・「反プーチン」運動へと展開する様相を見せている。今回の行動は都市在住の中産階級が初めて政治的意思を自らの行動で表明したものであるとして、その意義が強調されている。

ロシアの中産階級は全人口の 20% 程度を占めると言われているが、これらの層はソ連邦崩壊後のプーチン体制下の経済発展の恩恵を受けてきた。しかし、彼らは蔓延する公務員の汚職に対する怒りを強めており、プーチン体制の「管理された民主主義」の欺瞞性を認識し、現状に対する閉塞感から生活の場を海外に移す、すなわちロシアからの脱出指向を強めていると言われている。そして、プーチン氏の大統領選出馬によって現在の体制がさらに 6 年から 12 年続く見込みとなったことから、遂に街頭に出て声を上げることに至ったとみることができる。

(2) インターネット、SNS の役割

また、今回の運動の背景には、昨年の中東諸国における「アラブの春」と同様にインターネット、SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) が大きな役割を果たしていることが指摘できる。

昨年 12 月の議会選挙における得票の不正操作は、選挙管理人が投票所で複数の投票用紙に記入している動画等が YouTube に投稿されたことや、複数の地方の投票所において独自に行われた出口調査の結果と選挙管理委員会から公表された選挙結果の差が大きかったことがネット上で公表されたこと等から批判が高まったものである。12 月の集会においても壇上の演説者が参加者に対し、事実を世界に知らせ、政府による武力鎮圧を防ぐために動画を撮影し投稿することを呼びかけていた。

今回の運動は既存野党等の政治勢力が主導するものではなく、ネット上で体制批判などを行う多くのブロガー等が中心となって呼びかけたものであった。そのなかでも中心的な存在が、汚職追求のサイト「ロスピル」(РосПил⁵) を開設している弁護士アレクセイ・ナヴァルヌイ氏である。ナヴァルヌイ氏は 12 月 4 日のデモで当局に逮捕され 15 日間の勾留を経た後、24 日の集会の壇上に立ち、反プーチンの急先鋒的な存在となっている。

ロシアでは世界最大の SNS である Facebook やツイッター以外にも、「ВКонтакте」(Vkontakte)⁶、

⁵ <http://rospil.info/>

⁶ <http://vk.com/>

“Одноклассники” (Odnoklassniki)⁷等の独自の交流サイトが浸透しており、これらの媒体を通じて様々な情報が伝えられ、デモや集会への参加が呼びかけられている。

2月4日は大統領選挙の1ヶ月前にあたり、モスクワで再び大規模な行動が行われようとしている。この行動に関してはFacebook上では、“Шествие за честные выборы” (Rally for fair election: 公正な選挙を求める行進) という主体から情報が提供されており、2月1日午前11時現在26,275人が参加表明している⁸ (2月4日行動のシンボルマークは図表2)。なお、Facebookは実名による登録が原則とされており、参加表明している人々は意思を実名で明らかにしている。

図表 2:2月4日行動のシンボルマーク



2月4日 公正な選挙を求める平和的行進。
我々は(2011年12月に行動が行われた)ボルトナヤ広場、サハロフ広場にいた。2月4日に再び戻ってくるとのメッセージが記されている。

(Facebook上のШествие за честные выборыのコミュニティ Мы были на Болотной площади и придем еще”から転載)。

4. 影響と今度の見通し

(1)有権者同盟(Лига избирателей: the League of Voters)

今回の運動はいわば草の根的運動であり、政治的主張の異なる政党等も参加していることから、全体を統一するリーダーが不在であること、その主張についても統一性と明確なビジョンが欠如していることなどが運動の弱点として指摘されている。

上述のようにクドリン前財務相はリーダーとなる可能性はあるが、クドリン氏の政府との対話路線には反対もあり、さらにクドリン氏自身が现阶段では自ら運動のリーダーとなろうはしてい

⁷ <http://www.odnoklassniki.ru/>

⁸ Facebook上の情報によると、2月4日の行動は14時～17時間行われ、デモ行進はモスクワ中心部のルキマンカ大通りからボルトナヤ広場へ至る区間において計画されている。

ないようである。また、運動のシンボリック的存在となっているナヴァルヌイ氏には政治的経験が無く、どのようにして運動を導いていくかについては全く未知数である。

そのなかで 1 月 18 日に著名反体制ブロガー等 16 人を発起人として「有権者同盟」(Лига избирателей : the League of Voters⁹) が設立された。有権者同盟は 3 月 4 日の大統領選における自由で公正な選挙実施とメディアの自由を求めるという点で、運動の幅広い結集を図ろうとするもので、それ以外の政治色は持たないとしている¹⁰。有権者同盟は 1 月 29 日の自動車デモの主要呼びかけ主体の 1 つであり、2 月 4 日のデモについても Facebook 上で情報提供や呼びかけを行うほか、大統領選の監視団の組成を進めている。今後は運動全体のコーディネート及びアドバイザー機能を持つことを指向しており、今後この団体が運動の核となる可能性もある¹¹。

図表 3: 有権者同盟のロゴマーク



(有権者同盟ホームページから転載)

(2) 現体制及び大統領選挙への影響

繰り返しになるが、今回のような一般市民が参加する大規模な政権への抗議行動はプーチン体制下で初めてのことであり、運動がさらに持続して国民的な広がりを見せる場合には、強権的支配によって盤石の基盤を保ってきたプーチン体制が危機に直面する可能性もある。抗議運動が開始された当初、プーチン首相は、反対勢力は外国から援助を受けているとしてこれを強く批判したが、その後は反対派と対話を行おうとする姿勢に転じている¹²。

大統領選挙に関しては、プーチン氏に対抗しうる有力な候補は存在せず、支持率でもプーチン氏が他候補に大きく差をつけていることからプーチン氏が再選されることは間違いないものと考えられる。しかし、最近の世論調査では、大統領選挙でプーチン氏に投票すると回答した人の割合は 50% を下回っており (図表 4)、ここにきてプーチン氏が第 1 回投票で過半数票を獲得できず決選投票に持ち込まれる可能性も浮上している。仮にそのような事態となれば、過去圧倒的な強

⁹ <http://ligaizbirateley.ru/>

¹⁰ 大統領就任の意図を述べたナヴァルヌイ氏は有権者同盟のメンバーとされていない。

¹¹ 「有権者同盟」の詳細については、別稿にて報告の予定。

¹² 「有権者同盟」設立にあたり、発起人に対して政府から対話が提案されたが「有権者同盟」側が拒否したとの報道がある。

さを誇ってきた「プーチン神話」の崩壊であり、プーチン大統領再選後のロシアの政治情勢に与える影響は非常に大きなものとなると考えられる。

図表 4: 投票動向調査(大統領選挙で投票する候補者)

候補者(政党)	回答率
プーチン	49%
ジュガノフ(自由民主党)	11%
ジリノフスキー(共産党)	9%
ミローノフ(公正ロシア)	6%
プロホロフ(無所属)	4%
ヤ布林スキー(ヤブロコ)	2%
投票しない	9%
分からない	9%

(資料:全ロシア世論調査センター(VTsIOM)2012年1月22日調査)

また、自由で公正な選挙を求める運動が高まっている中で、次期プーチン政権が正当性を持つには、3月4日の大統領選挙が自由かつ公正に行われることが不可欠の要素となる。しかし、ロシア中央選挙管理委員会は1月23日、リベラル派政党ヤブロコの党首グリゴリー・ヤ布林スキー氏の大統領選立候補を、登録に必要な署名要件¹³を満たしていないことを理由に却下した。これに対しヤ布林スキー氏及びヤブロコは、その措置はプーチン氏が第1回投票で勝利するための措置であり、またヤブロコによる選挙監視を行わせないことを意図するものだとして批判を強めており、早くも「自由で公正な大統領選挙」が行われるかどうかについて疑問が投げかけられている。

5. おわりに

今回のロシアにおける大衆運動が今後の展開によってロシアの政治状況の解放への第一歩となる可能性もある。「アラブの春」でも明らかになったようにインターネットによる情報伝播によって政権側が反体制運動を力で押さえ込むこと極めて難しくなっている。しかし、本文中で指摘したような運動の弱点も依然として存在し、運動が現在の推進力を持ったまま進むのかどうかは現時点では見通しが立てにくい。だが、2月4日に予定される行動を始めとしてロシアの政治的近代化が重大な局面を迎えていることは間違いないであろう。

以上

¹³ 下院に議席を持たない政党に所属する者が大統領選挙に立候補するには、ロシア全土から200万人以上の署名を集めることが必要とされている。ヤ布林スキー氏が選管に提出した署名にはコピーや偽造が含まれており、その要件を満たさなかったことが却下の理由とされている。ロシアの広大な国土において短期間に200万人以上の署名を集めることは非常に負担の大きな作業であり、この制度自体が特定候補者の排除を目的とするものだという批判がある。因みに議会に議席を有する政党所属者については署名集めの要件は適用されない。